

～テロに注意してください～

- 1 ドイツでは、最近、以下の事案が発生しています。
 - 2016年7月、バイエルン州のヴェルツブルク近郊及びアンスバッハでテロ事件が発生（※1）
 - 同年10月、ザクセン州ケムニッツにおいて、爆弾テロを計画していた疑いでシリア人の男が検挙（※2）
 - 同年11月及び12月、ラインラント＝プファルツ州において、クリスマスマーケットを狙った爆弾テロを計画していた少年が検挙（※3）
 - 同年12月、ベルリン市内のクリスマス・マーケットに車両が突入し多数の死傷者が発生するテロが疑われる事案が発生（※4）
- 2 ドイツへ渡航・滞在される方は、テロ事件等に巻き込まれることのないよう注意が必要です。具体的には、以下に努めてください。
 - 最新の関連情報の入手に努める。
 - テロの標的となりやすい場所（クリスマスマーケットをはじめとするイベント会場、観光施設、レストラン、ホテル、ショッピングモール、スーパーマーケット等人が多く集まる施設、教会等宗教関係施設、公共交通機関、政府関連施設（特に軍、警察、治安関係施設）等）を訪問する場合には、滞在時間を可能な限り短くし、避難経路を確認しておく等の安全対策に留意する。
 - 周囲の状況に注意を払い、不審な状況を察知したら、速やかにその場を離れるなど安全確保に留意するとともに、現地当局の指示があればそれに従う。
- 3 その他、詳しくは、スポット情報、広域情報や以下の資料を御参照ください。

安全対策基礎データ

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure.asp?id=165>

テロ・誘拐情勢

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror.asp?id=165>

（※1）

【ヴェルツブルク近郊での列車内におけるテロ事件】

- 2016年7月18日夜（現地時間）、ドイツ南部バイエルン州ヴェルツブルク近郊を走行中の近距離列車内において、男性1名が斧とナイフで同乗客に襲い掛かり、5名が重軽傷（4名重傷、1名軽傷）を負う事件が発生。事件後、犯人は逃走したが、警察官に付近で発見された際に抵抗したため射殺された。
- この事件では、犯人が「アラー・アクバル」と叫びながら乗客に襲い掛かったとの目撃情報や、犯人の住居からイスラム過激派組織「イスラム国」の手書きの旗が発見されたとの報道もあり、また、「イスラム国」系の通信社「アアマーク通信」は、「イスラム国」の兵士による犯行であると伝えている。

【アンスバッハの野外音楽フェスティバル会場付近における爆発事件】

- 2016年7月24日午後10時頃（現地時間）、ドイツ南部バイエルン州ニュルンベルク近郊のアンスバッハ（Ansbach・ニュルンベルクの西方約40キロメートル）で開催されていた野外音楽フェスティバルの会場付近で、爆発事件が発生。この爆発により犯人は死亡し、15名の負傷者が出た。
- この事件では、犯人がイスラム過激派組織「イスラム国」に忠誠を誓う映像が発見されたとの報道があり、また、「イスラム国」系の通信社「アアマーク通信」は、「イスラム国」の兵士による犯行であると伝えている。

（※2）

【ザクセン州ケムニッツにおける爆弾テロ準備事件】

- 2016年10月8日（現地時間）、警察当局は22歳のシリア人男性のアパートにおいて爆弾、起爆装置等を発見するとともに、9日夜、現場から逃走していた上記男性をライプツィヒにおいて逮捕した。
- この事件について、ザクセン州刑事庁によれば、同人は「イスラム国」と接触があり、同人の行っていたテロ攻撃の準備はパリやブリュッセルでのテロ事件における手法と類似していると報じられている。

（※3）

【ラインラント＝プファルツ州ルートヴィヒスハーフェン市における爆弾テロ準備事件】

- 2016年12月5日（現地時間）、12歳のイラク系ドイツ人の少年がリュックサックに入れた手製爆弾を市役所近くの茂みの中に仕掛けたとして逮捕された（爆弾は警察が処理し被害なし）。同少年は、11月26日にもクリスマスマーケットでの爆発を試みたとされている。
- この事件について、同少年は「イスラム国」の影響を受けていると報じられている。

（※4）

【ベルリン・クリスマス・マーケットへの車両突入事件】

2016年12月19日（現地時間）、ベルリン中心部ブライトシャイト広場のクリスマス・マーケットに大型トラックが突入し、少なくとも12名が死亡、40名以上が負傷。警察当局によれば、突入した車両に乗っていた2名のうち1名が死亡、運転手1名が拘束された。

（了）